

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-01-15
事務事業名	農作物被害防止施設設置事業		
	平成13年度	根拠法令・要綱等	該当なし
事業開始年度	平成13年度		
総合計画	大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり	担当課(室) 農林水産課
	小項目 施策	農業	職・氏名 管理係長 大道健一
			電話 0869-64-1831 (内線236)

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	被害防止の為、防護柵等を設置する農業者
目的 (何のために)	有害獣による農作物の被害を防止し、農業者の生産意欲の向上を図る。
行政活動 (どのような方法で)	有害獣による農作物の被害防止の為に防護柵を設置する農業者に対して予算の範囲内で資材費を補助。(補助率1/2以内)
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	有害獣による農作物の被害防止を図ることで農業者の生産意欲の向上につなげる。

事業の実績					
活動実績	実施項目				
	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	農作物被害防止施設設置補助金	円	953,000	1,903,699	517,097
	補助金交付件数	件	27	28	8
	設置距離	m	7,735	9,960	2,350
事業費	直接事業費		953	1,904	518
	人件費	千円	1,768	2,020	572
	事業費計		2,721	3,924	1,090
財源	国県支出金		0	1903	517
	受益者負担	千円	0	0	0
	市一般財源		0	0	0
		2,721	2,021	573	
	必要人員	人	0.28	0.40	0.10
結果指標	結果指標名				
	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	設置距離	説明			
	結果指標量	m	7,735	9,960	2,350
	対前年比	%	-	128.8%	23.6%
活動コスト	円	2,721,000	3,924,000	1,090,000	
単位当たりコスト	円	352	394	464	

事業の成果			
成果指標名	設置距離	式又は説明	-
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	7,735.00	9,960.00	2,350.00
対前年比		128.77%	23.59%
到達目標値	被害防止に向けた効率的な設置方法を指導し、地区によって異なる被害状況に柔軟に対応するため、到達目標値は設定できない。	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	課題認識	農業者からの要望が多い事業であり、事業の実施は妥当である。
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A-E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
職	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	補助金交付にかかる事務作業等において、最適な手段を検討し、コスト削減に努める。
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	B
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	有害獣による農作物被害が増加傾向にある中で、被害防止に向けた本事業の実施は妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	有害獣による農作物被害が増加傾向にある中で、被害防止に向けた本事業の実施は妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	課題認識	有害獣による農作物被害が増加傾向にある中で、被害防止に向けた本事業の実施は妥当である。
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	有害獣による農作物被害が増加傾向にある中で、被害防止に向けた本事業の実施は妥当である。

平成20年度の状況	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している	
説明	農業者からの要望が多い事業でもあり、前年度と同様に今後も継続していく。
目標値	結果指標量
成果指標量	被害防止に向けた効率的な設置方法を指導し、地区によって異なる被害状況に柔軟に対応するため、到達目標値は設定できない。

総合評価	
有害獣による農作物被害は増加傾向にあり、農業者からの要望も増えている。こうした状況の中で本事業の実施により被害防止を図ることは、農業者の生産意欲の向上を促進し、農業振興につながるものと考えられる。	評価区分<A-E>
	B

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	適切な設置方法を指導し、効率的な被害防止を図る。	随時	効率性の向上